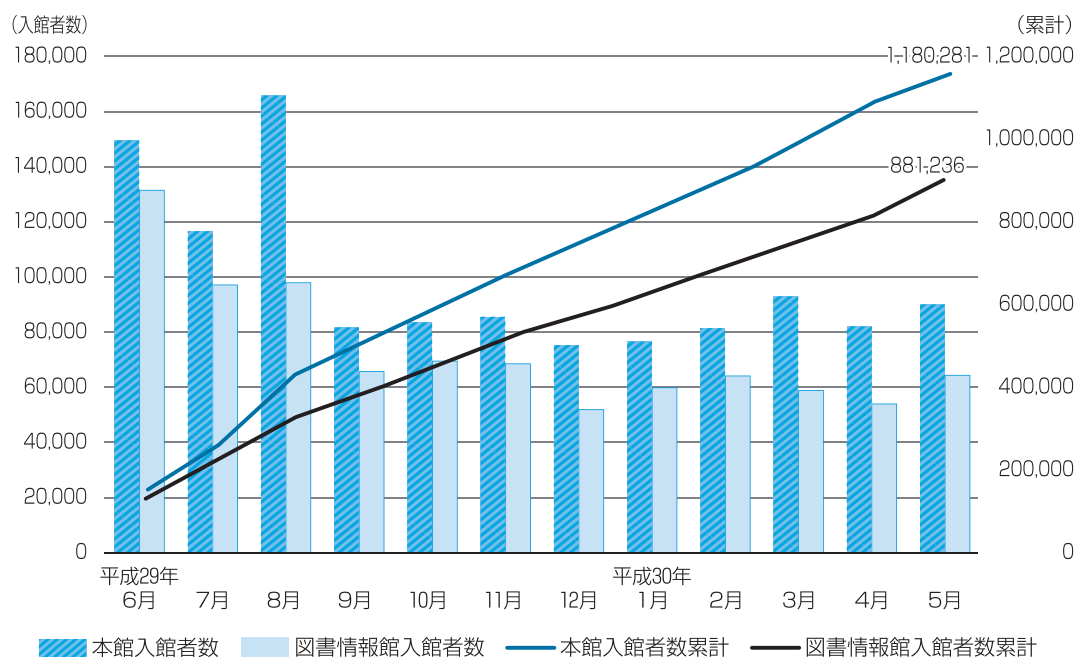


アンフォーレ1周年

昨年オープンした中心市街地拠点施設アンフォーレは、
6月1日をもって1周年を迎えました。
1周年を記念し、アンフォーレの1年間を振り返ります。



アンフォーレ1周年感謝祭(6月1日~3日)
初日のセレモニーでは、市長の号令とともにバズーカ砲と来場者のクラッカーで盛大にお祝いました。



アンフォーレは、かつて中心市街地に更生病院があった時代に往来していたとされる、1日3000人、年間100万人の入館者を当面の目標に運営してきました。たくさんの方にご利用いただき、オープンから10カ月後には目標を達成。1年間で118万人を超える皆様にお越しいただきました。

入館者118万人を記録！

File
01

1年間の振り返り

グランドオープン！

「学び・健やか・交わり」の場として、中心市街地の賑わいの創出・活性化を目指しオープン。オープニングセレモニーでは県知事や安城市出身の料理研究家・寺田真二郎さん、タレントの永井理子さんらによるくす玉割り等を行いました。



6月



8月

願いごと広場での初めての安城七夕まつり

アンフォーレの願いごと広場が「安城七夕まつり」のメイン会場として利用され、願いごとふうせんの一斉飛ばしや願いごと短冊等により、華やかに彩られました。

多目的室

大きな鏡や音響設備有り。部屋を区切ることもできます。

ヨガ体験



総合案内：安城プロモーションズ
アンフォーレやまちなかに
詳しい私たちが、使い方を
コーディネートします。
お気軽にご相談ください！



ホール

コンサートや映画上映会に加えて、客席を収納しての平面利用等、様々な使い方ができます。

パーティ



企業の入社式



展示会



File
02

アンフォーレでつながる「ケンサチ」の輪

アンフォーレの交流多目的スペースは、目的によって様々な使い方ができます。会議等での利用を除いた催事の開催件数は、1年間で約900件。市民の交流の場として活用されています。



入館者100万人達成！

オープン303日目となる3月30日に本館入館者が100万人を突破。100万人目となった市内在住の米森さんに記念品の贈呈を行いました。



第54回安城市小中学生科学賞作品展「かがくのひろば」

市内小中学校から選ばれた、子ども達の実験観察記録や発明作品を展示しました。



食と農の祭典

「安城の農業を知り安城の食を楽しむ」をテーマに開催。地元農産物の販売やステージイベント等があり、大勢の人で賑わいました。



図書館総合展2017フォーラム in安城

作家の荒俣宏氏による講演や市長らによるパネル討論「まちづくりと図書館」等が行われ、全国から図書館に携わる人や司書を目指す学生等が集まりました。

アンフォーレは全国から注目の的！ 視察が殺到し、雑誌にも多数掲載されました

全国から自治体職員や議員、教育関係者等が視察に訪れ、1年間で130件を超える視察に対応しました。
また、建築や図書館関連の雑誌等にも多数取り上げられ、表紙や特集記事等で紹介されました。



エントランス

1㎡から借りることが可能。机を一つ借りるだけで、手軽に物販や催事を行うことができます。



文房具販売

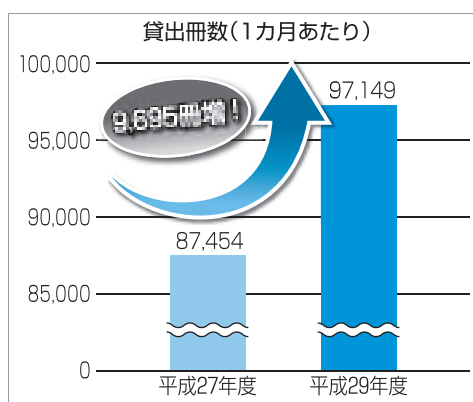
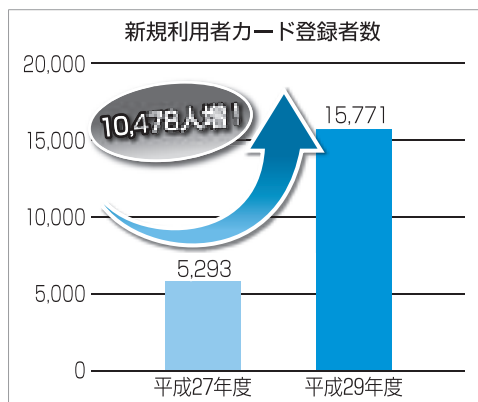


写真展・絵画展

DATA 01

図書サービスの利用が増えています

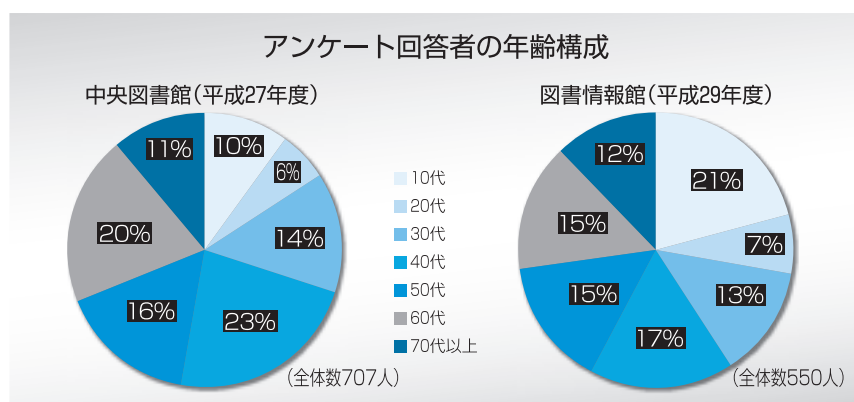
1カ月あたりの貸出冊数は、2年前と比較して約1万冊増加しています。



DATA 02

利用者の年代が幅広くなりました

来館者アンケートの回答者の年齢割合を比較すると、10代の割合が高くなり、20代も微増しています。結果として各年代のバランスがよくなり、全世代に利用いただける図書館となりました。



DATA 03

「本を読む・借りる」だけの施設ではありません!

図書情報館では、季節の催し等一年を通して様々なイベントを行っており、多くの人が参加していただいています。

毎月のおはなし会、「子ども読書の日」(4月23日)に合わせて開催する「ぬいぐるみのおとまり会」、日本の伝統的な遊びを体験できる

「でんでんむかしあそびの会」、大学の講師が市民の関心の高いテーマで講義を行う「アンフォーレナイトサイエンス」、古典文学を解説するだけでなく、参加者全員で朗読する「声に出して楽しむ古典文学講座」等があります。

その他にも、講演会やコンサート、落語、大人のための絵本朗読会等、年間を通して多くのイベントを開催しています。



▲ぬいぐるみのおとまり会

図書情報館の取組みは市全域に展開しています

■図書情報館のサービスがどこでも受けられます

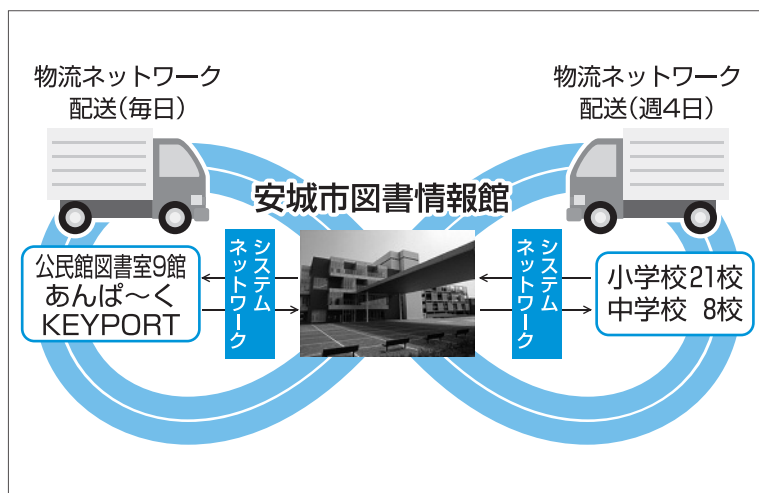
地区公民館図書室等との物流ネットワークやシステムネットワークが整備され、各サービス拠点での貸出冊数は昨年度の1.1倍となりました。

■各年代へのサービスを強化

●乳幼児へのサービス 4か月児健診後に「ブックスタート」として絵本のプレゼントや利用者カードの作成・配布を行っています。そのため、乳幼児のカード保有率は年々上昇しています。

●小中学校との連携を強化

図書情報館内に学校支援室を設置し、小中学校の学校図書館との連携を強化しました。

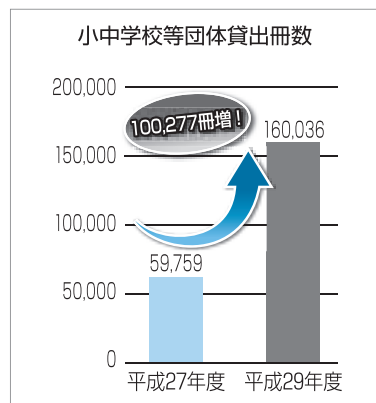


合わせて物流ネットワークの整備を行い、市内小中学校全てに、より多くの本を届けられるようにしました。朝の読書の時間に読む本が充実し、授業への資料の提供がより手厚く行えるよ

うになりました。

さらに、システムネットワークを整え、学校にしながら図書情報館の蔵書が検索できるようにしました。

これらの取組みの結果、小中学校等団体への貸出冊数が大きく伸びました。



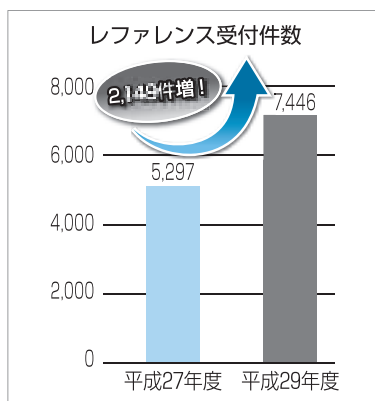
●中高生以上の年代に向けて

読書離れが進んでいると言われている中高生に向けて、コミックから就活本まで選りすぐりを集めた「らBooks(らブックス)」コーナーを設けました。多くの利用があり、16〜22歳の貸出冊数は昨年度の1.4倍となりました。こうした手に取りやすい本を集めてコーナーを設ける取組みは、全国的にも珍しいものです。

「レファレンス」をご利用ください

図書情報館では、本の貸出・返却をセルフ化し、他のサービスにより時間をかけるようにしています。特に、「レファレンス」件数の増加はその表れと言えます。「レファレンス」とは、利用者からの「こんなことを調べている」「こんな本を探している」といった相談のことです。

図書情報館は、国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」への事例登録件数が多いことから、国立国会図書館より4年連続で表彰を受けました。



アンフォーレは今後も皆さんに愛される施設を目指します。多くの皆様のご利用をお待ちしています。